

■就労相談関係者情報交換会

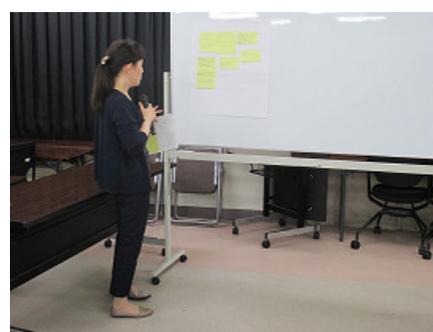
- 目的
- 平成 26 年度より、県内のがん診療連携拠点病院で、「社会保険労務士による就労相談窓口」を開設し、がん患者等に対して情報提供、相談支援等を実施している。さらに平成 28 年度からは、奈良県立医科大学附属病院でハローワークと連携した就職支援相談窓口を設置するなど体制整備を進めてきた。
 - 平成 29 年 5 月に実施した病院相談員、社会保険労務士を対象とする「社会保険労務士による就労相談支援」のアンケートでは、相談体制や窓口の周知等の課題が指摘された。
 - 就労支援の課題及びニーズを把握し、関係者間の情報共有をすることで、より一層の連携を目指し、情報交換会を開催した。

●対象者 がん診療連携拠点病院の相談員、社会保険労務士会の指名する相談支援員、就職相談等の関係者

●内容

日時・場所	内容・講師	参加者
平成 29 年 9 月 7 日 (木) 13:15~14:45 奈良県立医科大学 臨床医学研究棟 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ●第 3 期奈良県がん対策推進計画策定に向けて (報告) ●「社会保険労務士による就労相談支援」についてのアンケートまとめ (報告) ●意見交換「がんになっても働き続けるために」 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院相談員：7 人 (5 病院) ・社会保険労務士：4 人 ・大和高田公共職業安定所：2 人 計 13 人

- 概要
- 意見交換「がんになっても働き続けるために」では、病院相談員とは、社会保険労務士等が別れて意見交換した。
 - 病院相談員は、よりよい就労相談を実施するために、周知方法、事前情報の把握等をテーマに意見交換。「相談窓口の周知は十分しているが、必要な患者により早く情報が届くようにしたい」、「社労士による相談の前に患者がしておく事前準備を伝えると効率的」、また社会保険労務士への希望としては、「休業制度など一覧にしたペーパー等がほしい」といった意見があった。
 - 社会保険労務士は、相談時に工夫している点等をテーマに意見交換。「相談窓口のチラシ等に社労士の役割の明示必要」「県民だより等の広報誌や主治医から患者への就労相談の周知必要」「などの広報に対する意見、女性特有のがんもあることから女性の相談日の設置や若い方が集まる場やがん患者サロン等での出前相談、柔軟な相談日の設置など体制整備に関する意見があった。
 - 一回目の今回は、顔合わせの意味もあったが、今まで就労相談にかかる情報交換の場がなく、大変参考になったとの声もあり、今後も定期的に情報交換会を実施し、今後の取組や体制整備に活かしていく。



■事業者に対する就労支援研修会

- 目的
 - ・がん患者の就労支援の一環で、県内事業所での支援体制の整備や理解の醸成を進めるため、事業者に対する研修会を実施。
 - ・今年度は、奈良県社会保険協会主催の事業者向け講習会において、がんの現状やがん対策、特に就労支援の取組について周知啓発を行うことで、事業者が従業員への支援を考えるきっかけとする。

●対象者 奈良県社会保険協会加入事業所の事務担当者等

●内容

日時・場所	内容・講師	参加者
①平成 29 年 9 月 20 日 (水) 15:30~16:00 奈良県文化会館 小ホール	テーマ「がん患者が働きやすい職場をめざして ~奈良県のがん対策・就労支援の取組について~」 奈良県医療政策部保健予防課 参事 戸毛 由樹子 *平成 29 年度社会保険事務講習会 (主催 奈良県社会保険協会) での、全国健康保険協会奈良支部の担当する枠内で実施。	①105 人 (88 事業所)
②平成 29 年 9 月 21 日 (木) 15:30~16:00 奈良県産業会館 大会議室		② 86 人 (75 事業所)
		計 191 人 (163 事業所)

- 概要
 - ・今回は全国健康保険協会奈良支部の紹介で、社会保険事務講習会の場で実施することで、163 事業所 191 人を対象とすることができた。
 - ・国や県のがん対策、特に就労相談窓口当の支援の取組について報告し、事業者へがんをもつ従業員の理解や相談窓口等を周知する機会となった。
 - ・今後も事業所が多く集まる場での研修を検討していくとともに、より事業所が具体的に支援できるような事例提示等についても検討していく必要がある。



